

ゼロカーボンシティいせ ～脱炭素な伊勢市の実現をめざして～

伊勢市は、神宮林や朝熊ヶ岳をはじめとする豊かな緑、“清流”宮川・五十鈴川、白砂青松の名勝二見浦、波穏やかな伊勢湾など自然環境に恵まれ、古来、伊勢の地は「^{うま}美し国」と呼ばれてきました。先人たちが守り育ててきた、この豊かな自然を後世に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの責務です。

一方、地球規模での環境問題がクローズアップされている今日、一人ひとりが環境を意識し、資源やエネルギーを大切にす持続可能な循環型社会を目指していくことが求められています。また、近年、頻発する大規模な自然災害や異常高温などの要因となっている地球温暖化への対応は「待ったなし」の状況にあり、我が国においては、温室効果ガス排出を全体として実質ゼロにする2050年カーボンニュートラルを目標に掲げ、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。

伊勢市はこれまで、住宅・公共施設への太陽光発電システムの導入、エコドライブの推進、電気自動車の普及、電気バスの導入支援、学校での環境教育など、様々な地球温暖化対策の取組を進めてきました。今後は、脱炭素社会の実現に向け、これまでの取組はもとより、再生可能エネルギーの導入、脱炭素型のライフスタイルや事業活動の実践、温室効果ガスの吸収源対策を広げていくために、行政のみならず、市民、事業所、あらゆる関係団体との連携を図りながら、より一層の取組を進めてまいります。

私たちは、この地に暮らす者の責務として、市民力を結集し2050年カーボンニュートラルを目指す「ゼロカーボンシティいせ」をここに表明します。



2022年10月10日

伊勢市長 鈴木 健一